

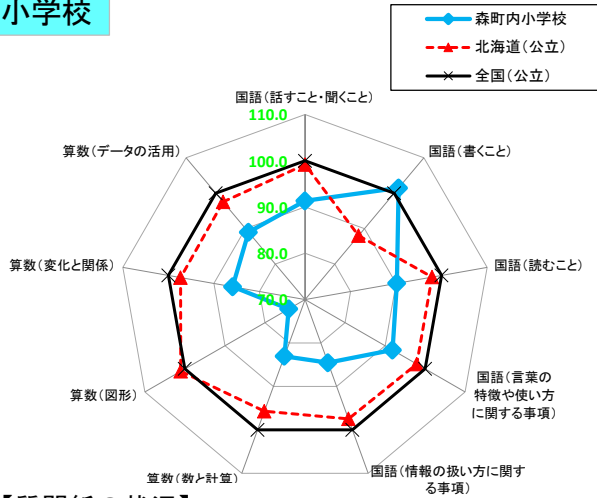
■森町内の状況及び学力向上策（小学校数：5校、児童数：96人）（中学校数：2校、生徒数：84人）

【教科全体の状況】

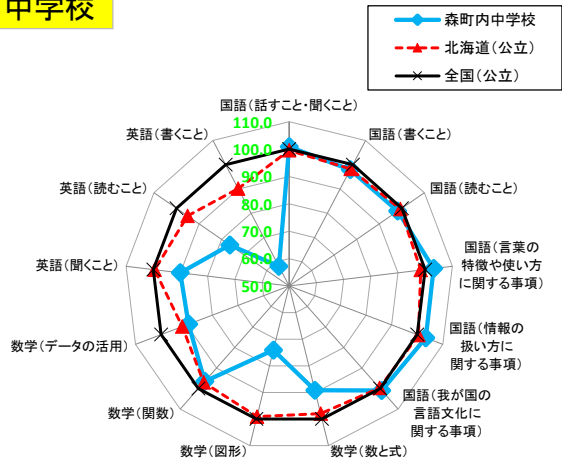
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	61	70
算数・数学	51	45
英語	-	36

小学校

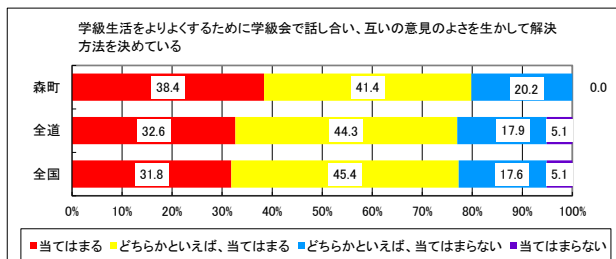
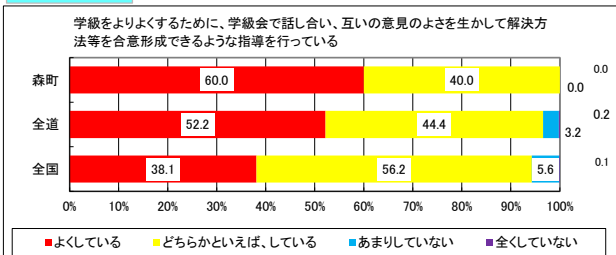


中学校

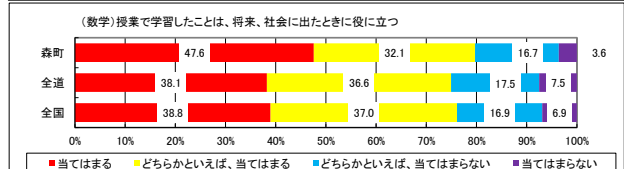
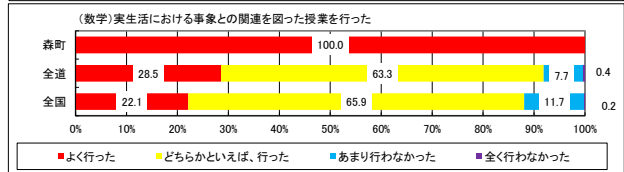
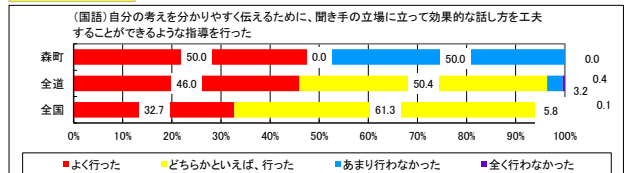


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

ICTを活用した子どもたちの学びの保障の促進を図ったことにより、国語科の「書くこと」における平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行ったことにより、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語科の授業において、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができると指導を行ったことにより、「話すこと・聞くこと」の平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学科の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、数学科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【森町の学力向上策】

- ◎ 教育課程の不断の編成、実施、評価、改善の確実なサイクルのための支援
- ◎ 小中一貫した教科等横断的な学習及び森町の「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと学習の展開
- ◎ オンライン授業の環境整備や教職員研修の充実によるICTを活用した子どもたちの学びの保障の促進